

科目名 (科目番号)	栄養教育論実習Ⅰ (時間割参照)	教員名 伊部 陽子	学科等	保健栄養	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			授業形態	実験・実習	オフィスアワー	D307研究室	
授業概要	本実習では、栄養教育の目標達成に向けて、行動科学の理論とモデルを活用しながら計画的に実施する方法を学習する。特に、栄養教育マネジメントサイクル(アセスメント、優先課題の抽出、目標設定、計画立案、行動科学理論・モデルの活用、教育媒体の工夫、栄養カウンセリングの実施、評価、改善)の一連の流れを実習を通じて習得する。						
目的・目標	目的:行動科学の理論・モデルや技法、栄養カウンセリング、栄養教育マネジメントについて実習を通じて理解し、新たな栄養教育プログラムの作成・実施に必要な実践力を養う。 目標:栄養教育論Ⅰ・Ⅱで学んだ理論や技法を活用し、栄養教育マネジメントサイクル(アセスメント、目標設定、プログラム作成、実施、評価、見直し)の流れを実習を通じて理解する。						
準備学習	毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	栄養教育のアセスメント(1)	到達目標:栄養教育のための食物摂取状況のアセスメントを理解する。 学習内容:栄養教育のための食物摂取状況のアセスメントを行う。				
	2	栄養教育のアセスメント(2)	到達目標:栄養教育のための健康状態、身体活動状況のアセスメントを理解する。 学習内容:栄養教育のための健康状態、身体活動状況のアセスメントを行う。				
	3	栄養教育のアセスメント(3)	到達目標:行動科学の理論とモデルを活用した分析を理解する。 学習内容:行動科学の理論とモデルを活用した分析を行う。				
	4	栄養教育の目標設定	到達目標:栄養教育プログラムの目標設定を理解する。 学習内容:重要性和実現可能性を検討し優先度を考慮した課題抽出と目標設定を行う。				
	5	行動科学の理論とモデルを活用した栄養教育計画立案(1)	到達目標:行動科学の理論とモデルを活用した栄養教育計画立案・教材作成を理解する。 学習内容:前熟考期の栄養教育指導案と教材を作成し発表する。				
	6	行動科学の理論とモデルを活用した栄養教育計画立案(2)	到達目標:行動科学の理論とモデルを活用した栄養教育計画立案・教材作成を理解する。 学習内容:熟考期(1)の栄養教育指導案と教材を作成し発表する。				
	7	行動科学の理論とモデルを活用した栄養教育計画立案(3)	到達目標:行動科学の理論とモデルを活用した栄養教育計画立案・教材作成を理解する。 学習内容:準備期の栄養教育指導案と教材を作成し発表する。				
	8	行動科学の理論とモデルを活用した栄養教育計画立案(4)	到達目標:行動科学の理論とモデルを活用した栄養教育計画立案・教材作成を理解する。 学習内容:実行期(1)の栄養教育指導案と教材を作成し発表する。				
	9	行動科学の理論とモデルを活用した栄養教育計画立案(5)	到達目標:行動科学の理論とモデルを活用した栄養教育計画立案・教材作成を理解する。 学習内容:実行期(2)の栄養教育指導案と教材を作成し発表する。				
	10	行動科学の理論とモデルを活用した栄養教育計画立案(6)	到達目標:行動科学の理論とモデルを活用した栄養教育計画立案・教材作成を理解する。 学習内容:熟考期(2)と実行期(3)の栄養教育指導案と教材を作成し発表する。				
	11	行動科学の理論とモデルを活用した栄養教育計画立案(7)	到達目標:行動科学の理論とモデルを活用した栄養教育計画立案・教材作成を理解する。 学習内容:維持期の栄養教育指導案と教材を作成し発表する。				
	12	行動科学の理論とモデルを活用した栄養教育計画立案(8)	到達目標:行動科学の理論とモデルを活用した年間の栄養教育プロラムを理解する。 学習内容:年間の栄養教育プロラムを作成し発表する。				
	13	行動科学の理論とモデルを活用した栄養教育計画立案(9)	到達目標:行動科学の理論とモデルを活用した本時の栄養教育指導案を理解する。 学習内容:本時の栄養教育指導案を作成し発表する。				
	14	行動科学の理論とモデルを活用した栄養教育プログラムの実施	到達目標:行動科学の理論とモデルを活用した栄養教育プログラムの実践方法を理解する。 学習内容:行動科学の理論とモデルを活用した栄養教育プログラムの実施を行う。				
15	行動科学の理論とモデルを活用した栄養教育の評価	到達目標:行動科学の理論とモデルを活用した栄養教育プログラムの評価を理解する。 学習内容:実施した栄養教育プログラムの評価を行う。					
成績評価の方法・基準	課題と発表(50%)、期末試験(50%)を総合して評価する(対面・オンライン共通)。						
教科書	栄養教育論実習 第3版		片井加奈子・川上貴代久保田恵編		講談社サイエンティフィック		
参考図書	学生・管理栄養士のための栄養教育論(栄養教育論Ⅰの教科書) 授業時間内に適宜指示する						
教員からのメッセージ	昨年度の授業評価アンケート結果に基づく改善を施します。課題はコメント等を付して授業内で返却します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。 受講生の理解度に応じて、学習内容の配分、順番を変更することがあります。変更する場合は、授業内または掲示でお知らせします。						